

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
(事務局：全国私立学校教職員組合)

No.9 2021年7月19日(月)

1 学期末も近づいてきました。昨年のこの時期は、コロナ禍そして臨時休校明けの「授業時数確保」を目的とした学校日程の多忙の中で、各県、各ブロックの父母懇、私学助成をすすめる会、私学をそだてる会等の、新歓行事や学習会の開催が見送られました。その後も感染者数高下の影響で、生で出会う機会をつくりきれない状況でした。そうした中でもオンラインの活用が広がる中、今年のこの期、各地で「父母懇」「すすめる会」の学習会、スタート集会が開催されています。

神奈川父母懇談会ニュース

2021.7.13
神奈川父母懇事務局

オンラインで関東をつなぎ、 120人以上の参加で大盛況！ 7.4 関東ブロック子育て懇談会



講演する野井真吾先生



100人がオンラインで参加！



本部は東京私教連



旭丘はサテライト会場を作って参加

2年連続中止になった「関東ブロック父母懇交流集会」にかわるものとして議論する中で生まれた、関東ブロック子育て懇談会が7月4日(日)にオンライン併用で開催されました。事前の予想をはるかに上回る120名以上の参加で大盛況でした。

記念講演は日本体育大学の野井真吾先生、コロナ禍での子どもたちの生活やからだについてデータに基づいて非常に分かりやすい内容のお話でした。神奈川からも20名以上の方が参加しました。

自分のクラスにいる、毎日のリズム作りに失敗している子に対して、アドバイスの仕方が変えられるキッカケになりそうです。

日中は太陽の元で明るく、夜は暗くというのは自然なことだけどやはりできない人が多いと感じます。塾の光、コンビニの光、スクリーンタイム…これらを無くすのは難しいので、付き合い方を考えたり、通常的生活リズムを努力して増やしていくことも大切だと思いました。

…私もスマホ依存などところがあるから…笑

学校というところの価値が再確認された公演だったと思います。一つずつ実現するためにやはり根底に助成金の運動が重なってくるなと思いました。(教員)

聞いてよかったと思える講演会でした。外遊びや日光の大切さは分かっていたはずだけど、自分自身の子育てもできていなかったと思います。自分の子どもの時代はちょうど「オゾン層がうすくなっていて、日光にあたると皮膚癌になる」という話が共有されたあたりで、そういう時代でした。その時の本当かどうか判断できない情報の中で子育てしてきて、いろいろなことに左右されてしまったなと思いました。

今の時代は「コロナ・三密を防ぐ」ことになっていますが、ここから10年、20年後の子どもたちの影響が怖いなと思いました。(父母)

近畿ブロックでも 新潟でも

7月17日(土)は、近畿ブロックで「近畿ブロック父母懇交流集会」が開催され、4府県から60名の父母と教職員が参加しました。兵庫：神戸弘陵高校、京都：立命館高校ではサテライト会場に父母が集まって参加しました。

同日、新潟では新潟私学助成をすすめる会、父母の会の総会とともに、私学助成学習会を開催しました。

授業料減免補助制度を全く拡充せず、経常費助成予算まで削減するという、私学に冷たい県政に対する怒りを共有し、刈県要請時のスタンディング行動などのとりくみを確認しました。

7月31日(土)、8月1日(日)

つぎは、SAGAうれしのオンライン全私研で会いましょう！

父母・地域との共同の分科会には、旭丘の小林先生がレポートします！